

科目名	建築製図 1							年度	2024
英語科目名	Architectural Drafting 1							学期	前期
学科・学年	建築設計科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	大澤 公仁		教員の実務経験		あり	実務経験の職種		建築設計	
【科目の目的】 ・ 建築の製図記号が理解できる ・ 実際に建築物を体験し、そのスケール感と立体感をイメージしながら平面図、断面図、立面図を描くことができる ・ 寸法と機能性を理解し自分で設計した空間を、平面図、断面図、立面図で表現することができる									
【科目の概要】 建築図面の記号を理解することから始まり、平面図、断面図、立面図を描くことができるようにする。寸法感覚を身に付けると同時に、三角スケールを使用した縮尺表現、抽象化した図面表現を理解する。また機能性やコンセプトを建築に具現化して図面表現する、基礎的な設計力を習得する。									
【到達目標】 A. 線の種類や太さの意味を知り、描き分けることができる B. 三角スケールで縮尺を測り、建築の製図記号を理解し描くことができる C. 寸法感覚を持って住宅の平面図・断面図・立面図を描くことができる									
【授業の注意点】 評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により講評会において評価を行う。 学生による自己評価及び相互評価も実施し、評価に勘案する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	線の種類や太さの意味を理解し、綺麗に描き分けることができる		線の種類や太さの意味を理解し、描き分けることができる			線の種類や太さの意味を理解できない			
到達目標 B	三角スケールで縮尺を測り、建築の製図記号を理解し、正確に描くことができる		三角スケールで縮尺を測り、建築の製図記号を理解し、描くことができる			三角スケールでの縮尺や測り方、建築の製図記号を理解できない			
到達目標 C	寸法感覚を持って、住宅の平面図・断面図・立面図を正確に描くことができる		寸法感覚を持って、住宅の平面図・断面図・立面図を描くことができる			寸法感覚を持っておらず、住宅の平面図・断面図・立面図を描くことができない			
【教科書】 『建築デザイン製図』学芸出版社									
【参考資料】 資料プリント									
【成績の評価方法・評価基準】 授業への取り組み姿勢、出席状況、成果品とプレゼンテーション等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		建築製図 1				年度	2024	
英語表記						学期	実習	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	科目概要説明	科目の目的・内容を理解する	1	科目概要	科目の目的・内容を理解している	2		
			2	授業方法	他科目との関連や授業実施方法を理解している			
			3	製図道具の使い方	製図道具の使い方を理解している			
2	第一課題 線の意味	線の種類・太さの意味を理解し描く	1	線の種類	線の様々な種類と意味を理解し、正確に描く	2		
			2	線の太さ	線の太さの意味を理解し、正確に描き分ける			
			3	線分の等分割	三角スケールで等分割する方法を理解し、描く			
3	第二課題 図面記号	建築図面の記号の意味を理解し描く	1	出入口の記号	出入口の様々な種類と記号を理解し、正確に描く	2		
			2	窓の記号	窓の様々な種類と記号を理解し、正確に描く			
			3	実測と図面化	自宅のドアを実測し、図面として正確に描く			
4	第三課題 「陽の家」の製図	1階平面図	1	「陽の家」の説明	MUJI HOUSE「陽の家」を説明動画で理解する	2		
2			基準線	平面図にのつての基準線の意味を理解し描く				
3			外・内壁と開口部	外壁・内壁と開口部を描く				
5		1階平面図	1	設備・造作と家具	設備・造作と家具を描く	2		
			2	ウッドデッキと樹木	ウッドデッキと樹木を描く			
			3	寸法線	寸法線を整理して描く			
6		断面図	断面図	1	断面輪郭	断面輪郭を太線で描く	2	
				2	見えがかり	見えがかりを細線で描く		
				3	寸法線	寸法線を整理して描く		
7		立面図	立面図	1	東側立面図	遠近を太線・細線で表現して描く	2	
				2	南側立面図	遠近を太線・細線で表現して描く		
				3	西側立面図	遠近を太線・細線で表現して描く		
				4	北側立面図	遠近を太線・細線で表現して描く		
9		図面仕上げ 「陽の家」の設計	図面仕上げ 「陽の家」の設計	1	陰影と人型	陰影と人型を描いて立体感と活動性を表現する	2	
				2	図面チェックシート	図面チェックシートでブラッシュアップする		
	3			課題説明	「陽の家」の設計に関する課題設定を理解する			
10	第四課題 「陽の家」の設計	エスキス指導 1	1	1案のエスキス指導	1案目を指導教官と話し合いアドバイスを受ける	2		
2			改善案	改善案を考えて描き、スタディ模型を作る				
11		エスキス指導 2	1	2案のエスキス指導	2案目を指導教官と話し合いアドバイスを受ける	2		
			2	改善案	改善案を考えて描き、スタディ模型を作る			
12		エスキス指導 3	1	3案のエスキス指導	3案目を指導教官と話し合いアドバイスを受ける	2		
			2	改善案	改善案を考えて描き、スタディ模型を作る			
13		模型制作	模型制作	1	敷地	敷地周辺の条件を理解し、敷地模型をつくる	2	
				2	建築物の型	スチレンボードに床、壁、屋根等の型を描く		
				3	模型制作	模型を制作する（夏休み中の課題）		
14		即日製図	即日製図	1	即日製図	敷地図兼 1階平面図、断面図、南立面図を描く	2	
				2	図面チェックシート	図面チェックシートでブラッシュアップする		
				3	図面の完成・提出	図面を完成し、提出する		
15		講評会	講評会	1	全体鑑賞会	全員の図面と模型を鑑賞し合い、コメントを書く	2	
				2	グループ別講評会	グループ別でプレゼンと講評会をする		
				3	選抜講評会	選抜者のプレゼンと講評会をする		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等